

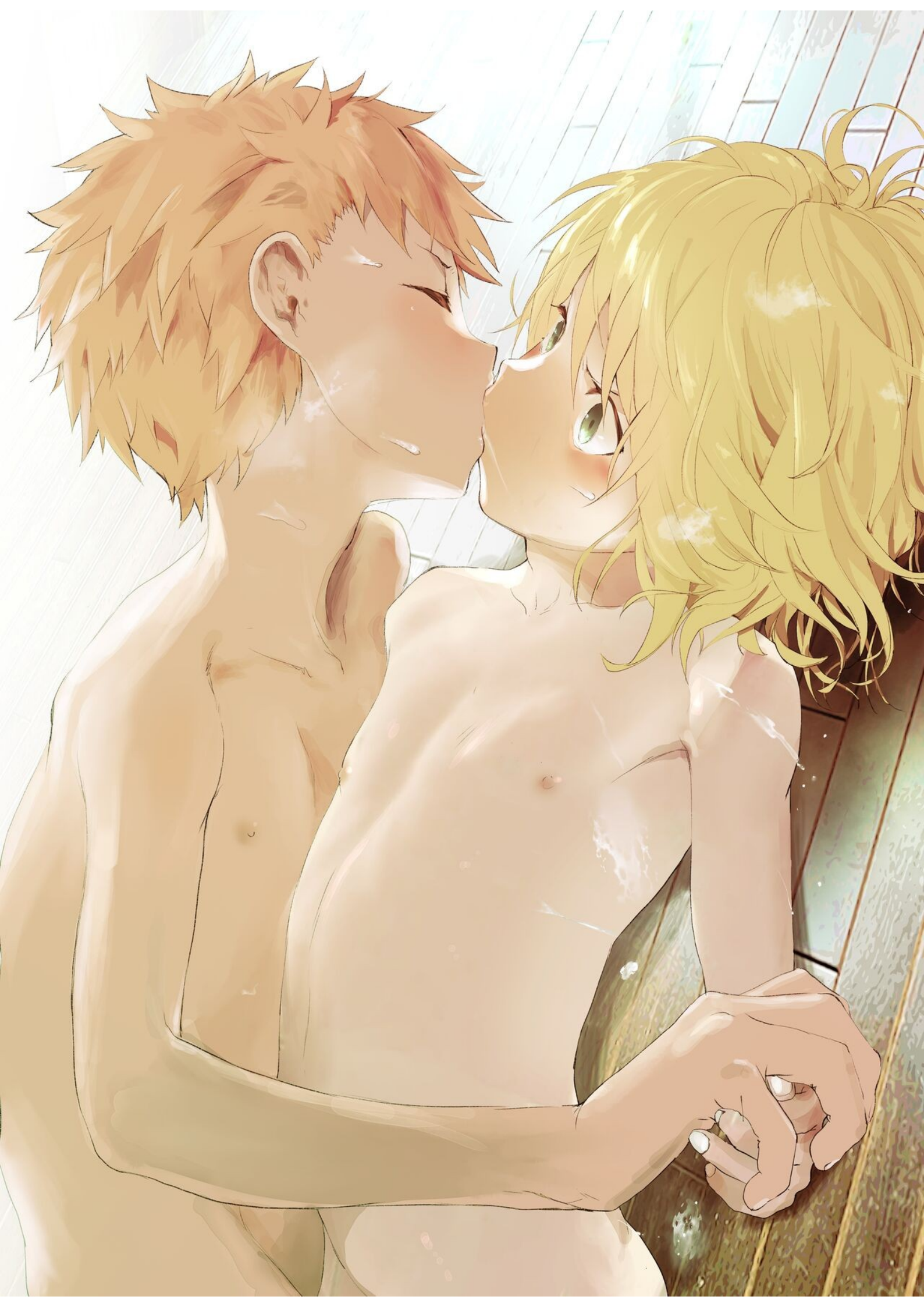
DOJIN  
R18  
成人向け

魚場所がないので神待ちしてみた捨てられた少年のエロマンガ

# 神待ち少年

42

漫画 orukoa  
原案 水野いんく





流星宅に戻った三人。

めちやくちやな事をいう大人、流星を前にユイト達の言葉が飛び交う。そして何を思ったか早とちりしたトモキがヒカルを脱がし始める。けなげなトモキを見て思うところがあるユイト。そんなユイトは容赦なく流星に掘られる。

ただ、彼にとってそんなことは日常。

それよりもトモキへの思いのほうに彼に重くのしかかる。

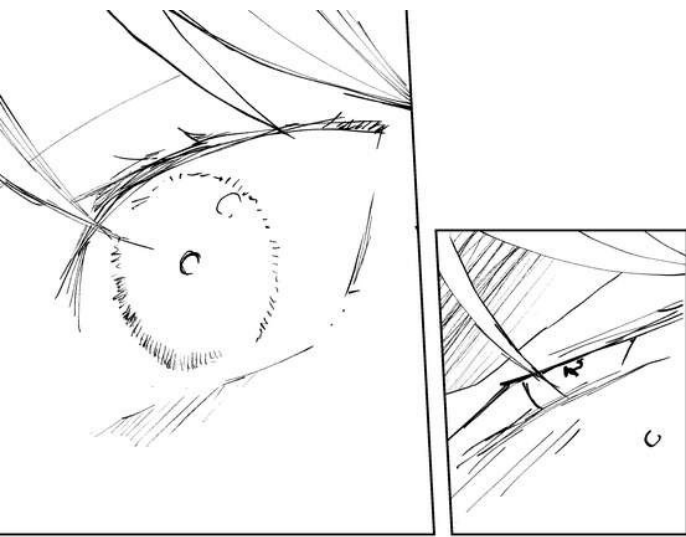
トモキ：彼は何を思うのか。

ユイトは何を思うのか。

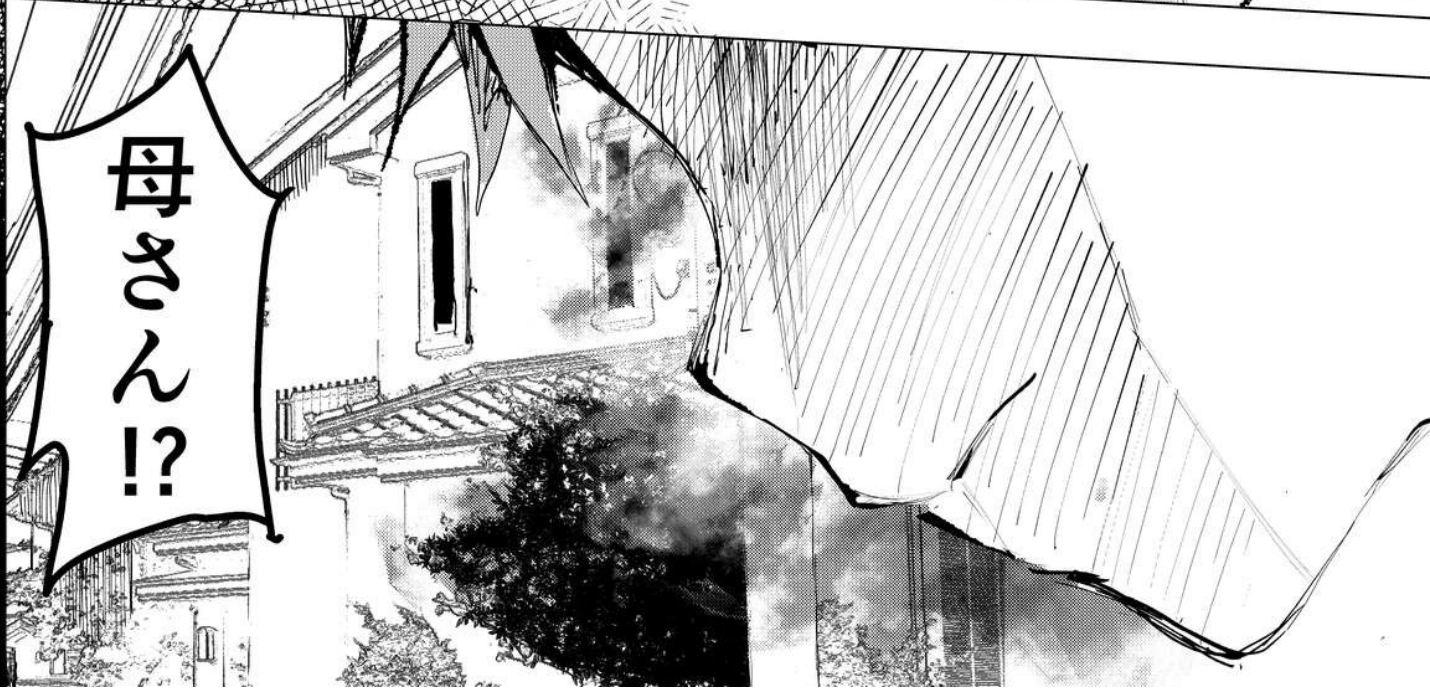
ヒカルという新たなエネルギーが彼ら突き動かす。

三人の関係は徐々に動き出し、そしてまた別の三人も……。

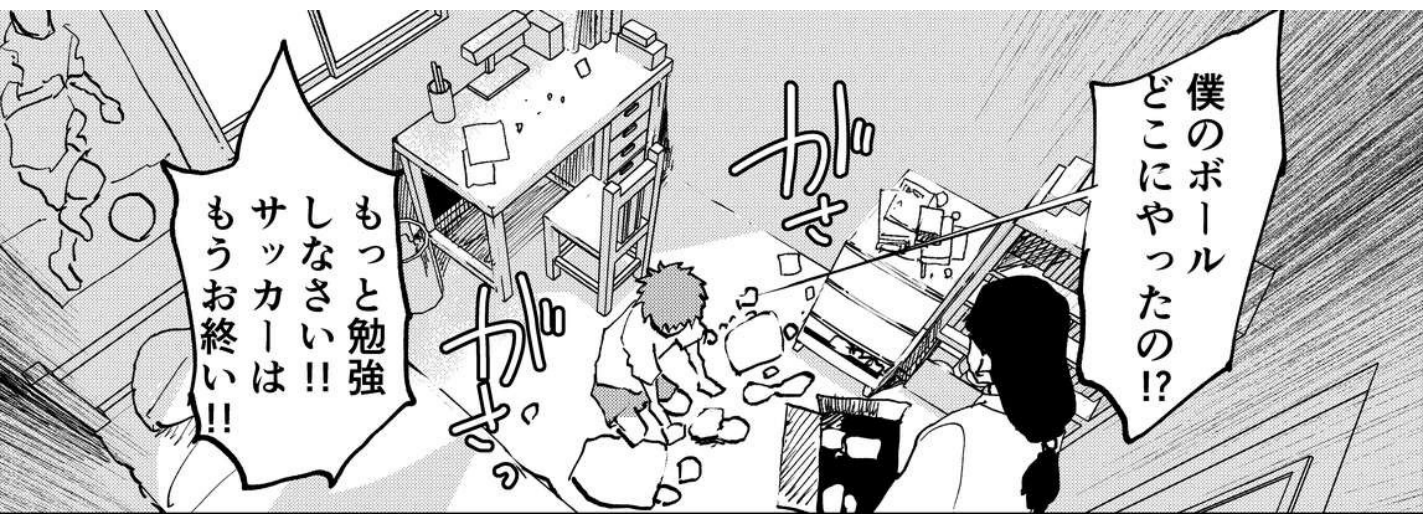


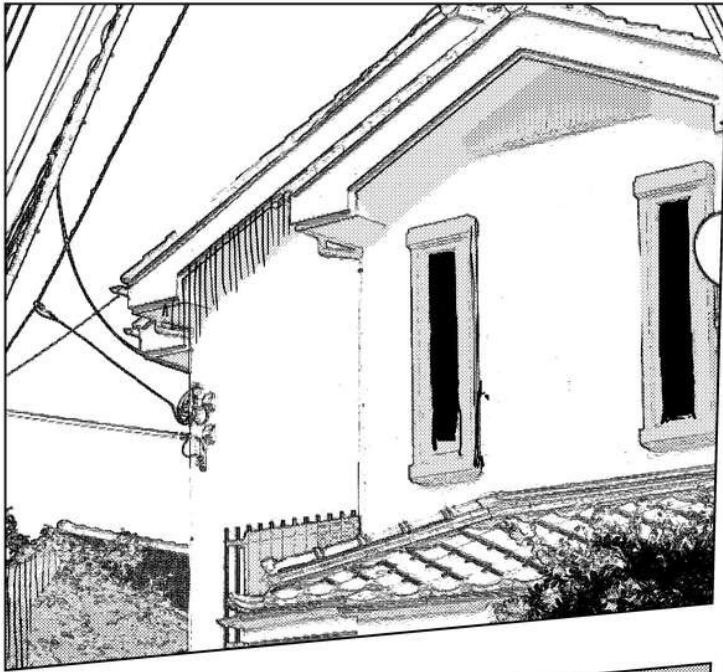


我慢してるんだ



母さん!?

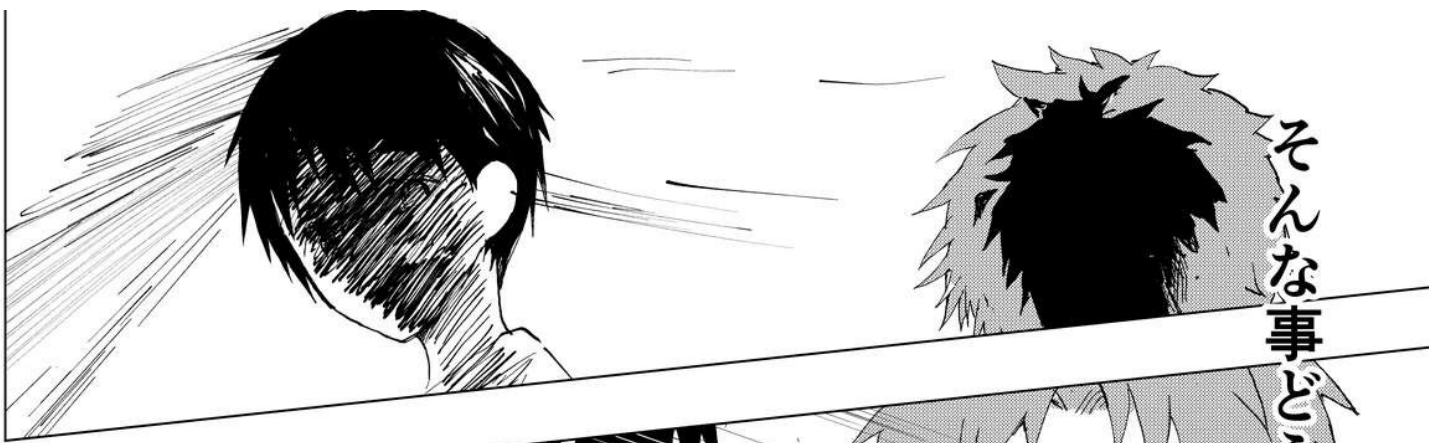




こんな家、嫌になつて…

家出した…のに…





そんな事どうでも良くなった

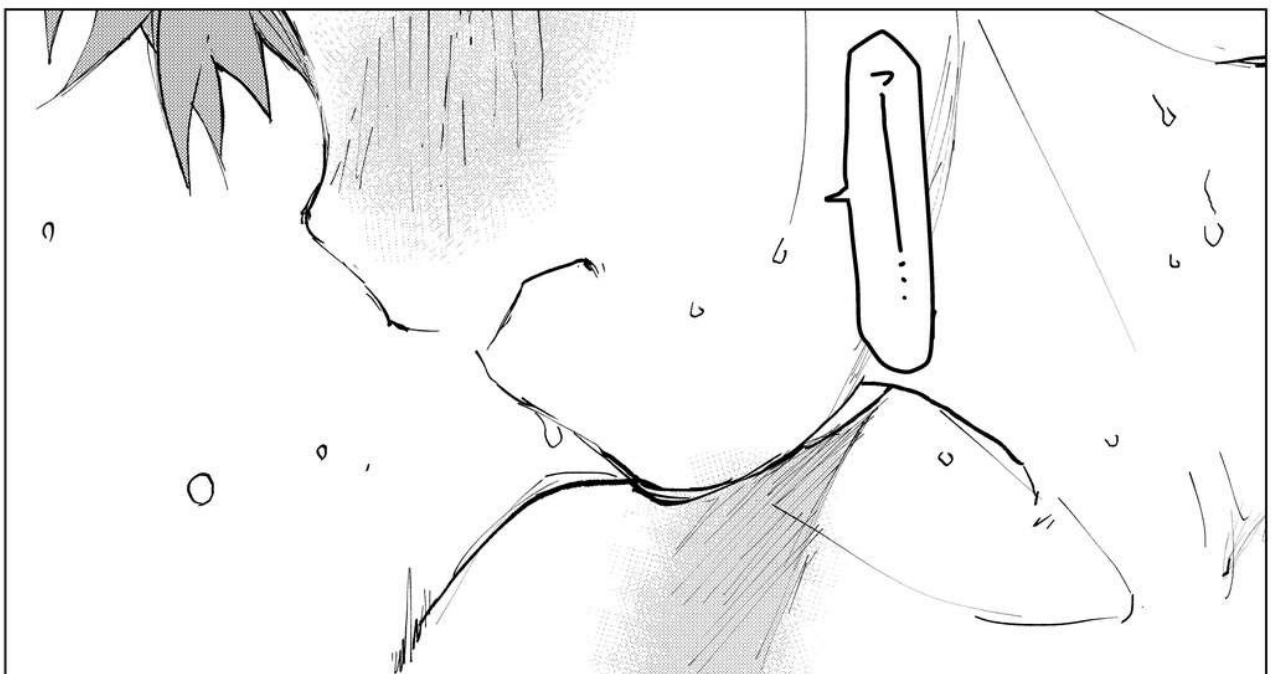


ずっと…  
ユイトさんのそばに居たい

ユイトさん

嫌われたく……ない







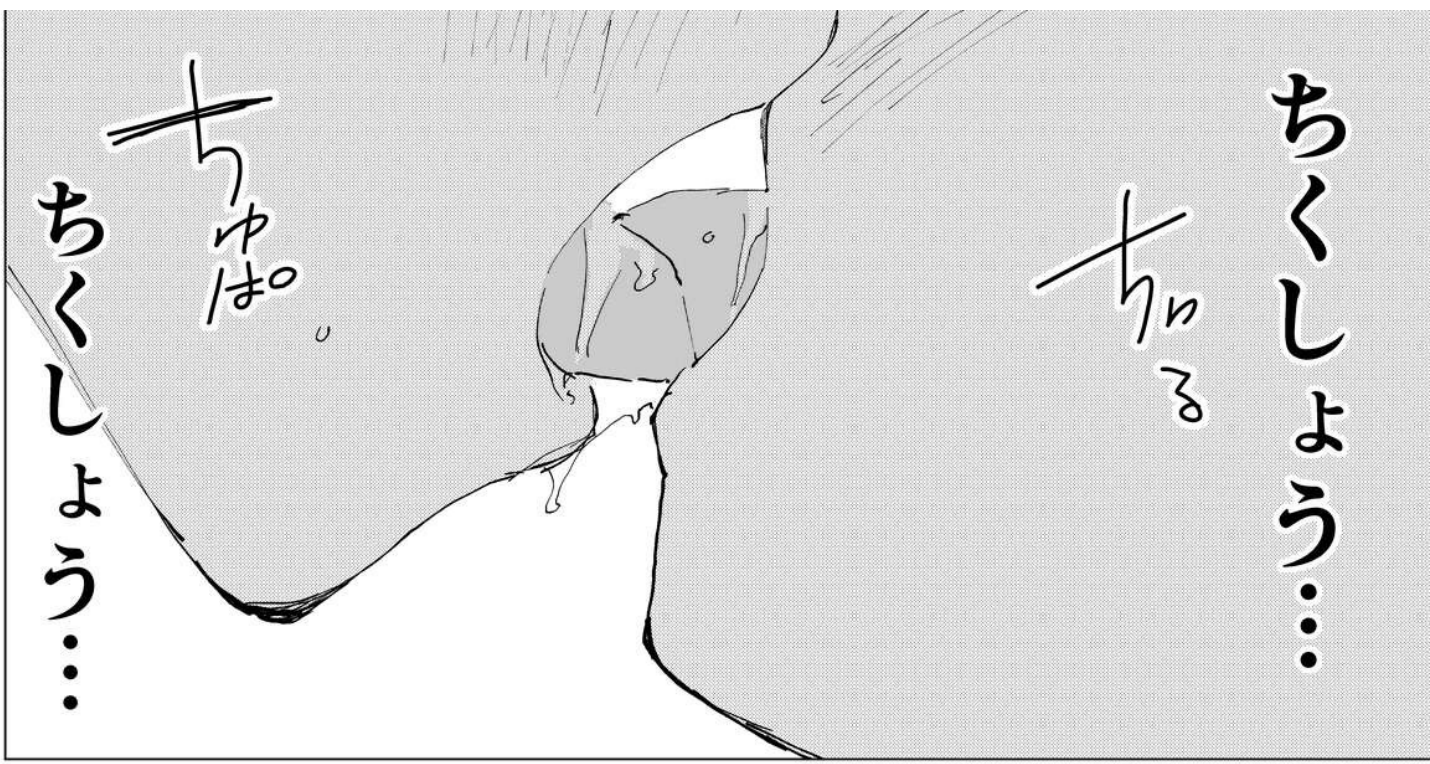
そのためなら  
何だってしてやる!!!

ちゅ



この  
ガキイイイ!!!

クソツツ!!!



ちくしょう…

ちくろ

ちくしょう…

ちゅほ



キスはユイトとしか  
したくなかったのに…

んん…

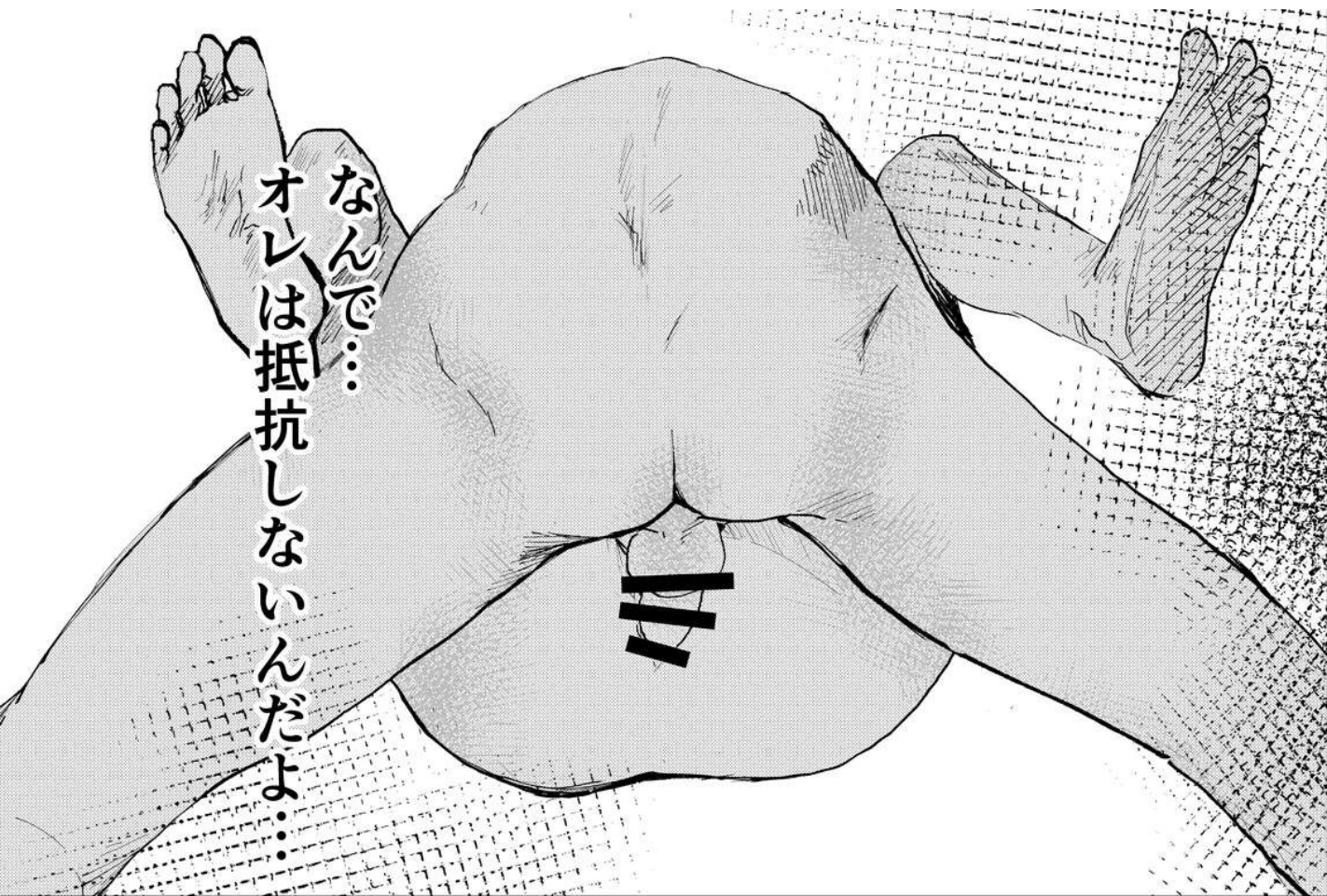
なんで…  
抵抗できないんだよ



び

///

ん







本当にあれが「いい」の……？



もっと違う何かが……



もっと……



あ

あ

あ…  
あめろっ

まてって…  
トモキ…



あ  
あ

あ

それを僕が…

壊したんだ…



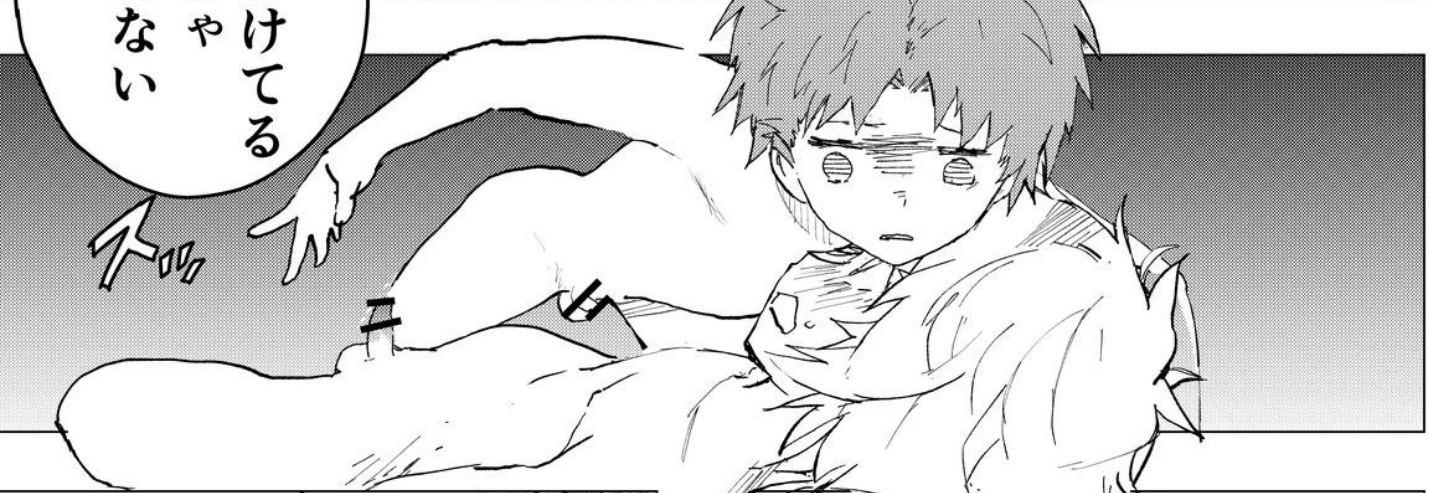


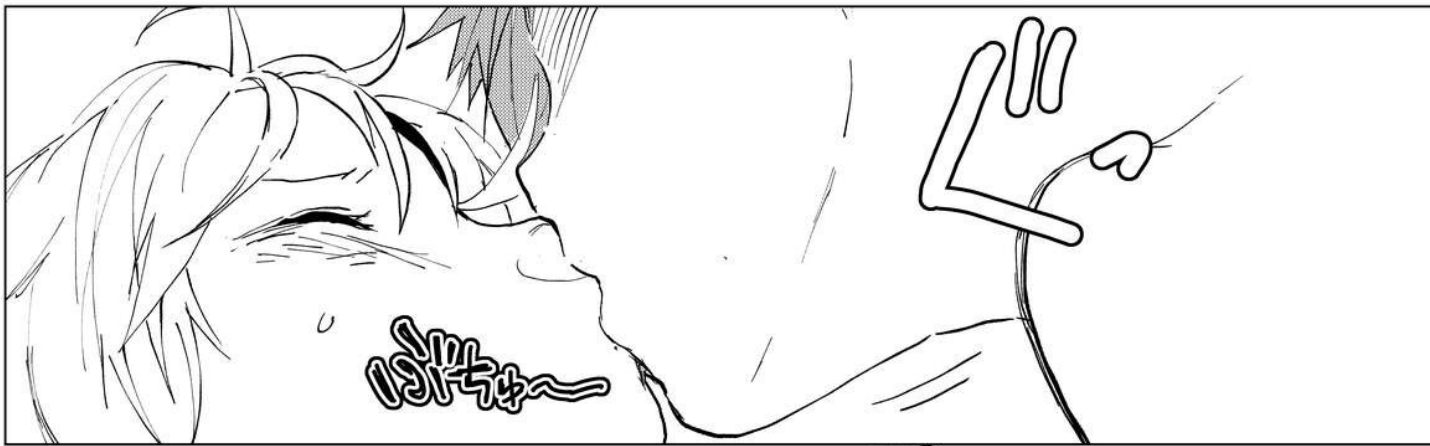
何を待つのか?





睨みつけてる  
だけじゃ  
わかんない  
だろ









ぽた

ぽた





これじゃ  
父さんと  
同じだ：！！







ぽん…

お前のことも  
好き…なのかな…



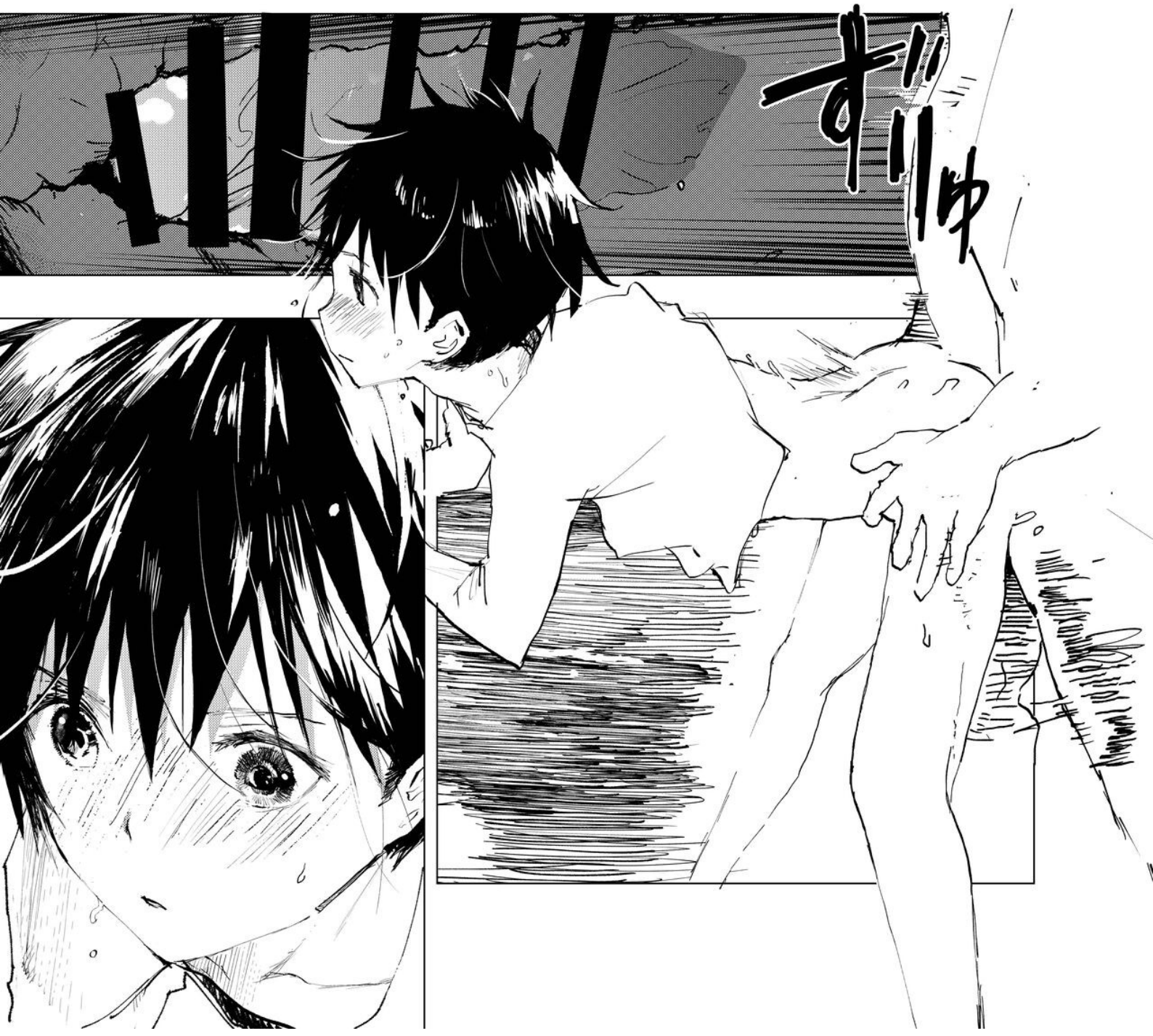
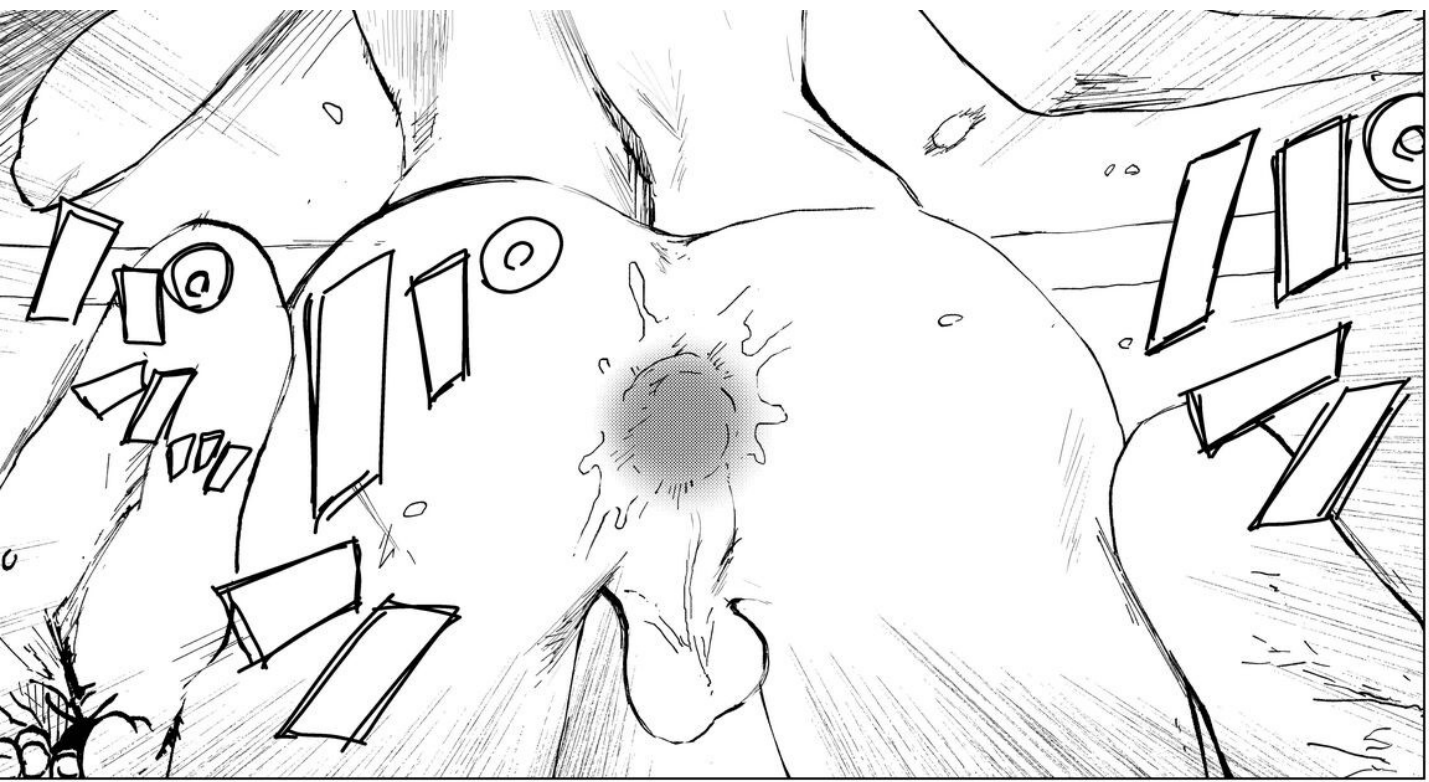
んあああ  
萌えるわあ  
あの二人：  
イキそ♡

そろそろ  
思いつきり  
出している？  
ユイトくん…♡

…はいっ…

いっ…ですよ







ああっすっごい  
いっぱい出る!!  
受け止めてね!

はい…



びゅる  
びゅる

イイツ!! 良いよっ  
ユイト君相変わらず  
気持ちいい!!



ちげエーよ!!



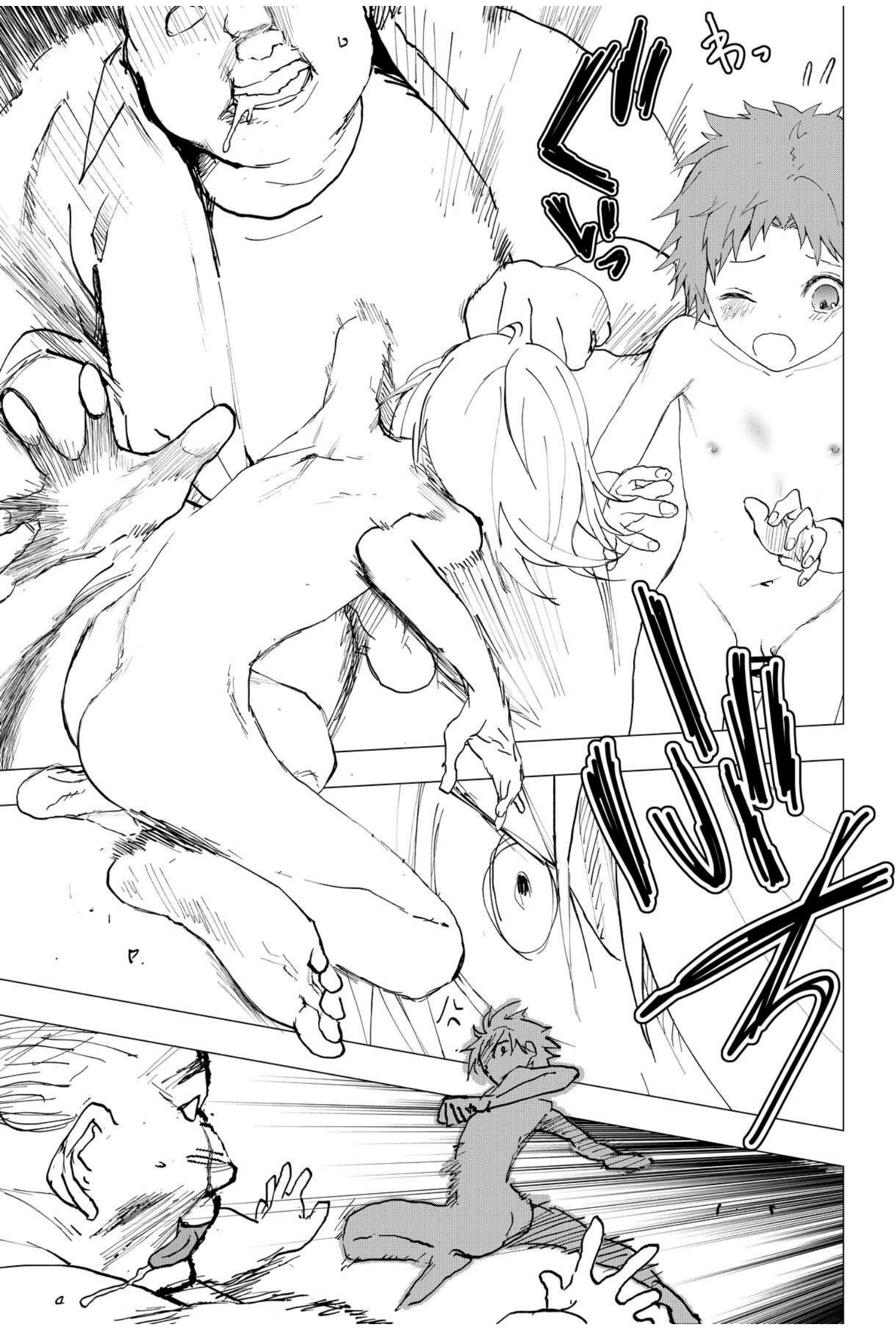
あ!  
わかった!  
それ勘違い  
だよ













トモキに  
何すんだ!!

あぐわっ!!



だっ  
大丈夫ですか!  
流星さん

あ…  
ありが…とう…  
トモキ君…  
優しい子だね…

でも…平気!!  
慣れっこさ…

それに…  
ご褒美さ



あ…良かった  
ですね

え…意外と  
あっさり

もっと優しく  
してくれても  
いいんだからね!?

…本当平気  
なんです









あの三人組の  
こと…ですよね

その通り!





出てけ!!  
この  
バカ息子!!

楽しく  
なるよ



# あとがき

この度はお買い求めいただきありがとうございます。  
今絶賛徹夜中でこれを書いています。  
全然頭が働いていません。  
いつもか。

あと今回はいつもより作画カロリー高めの方針で描きました。時間かかっちゃいました。  
次回もこれくらい、いやこれ以上の作画で行きたい。  
最近は早く描くことばかり意識していたので当分は質を意識していきます。  
ではまた。

# 奥付

「居場所がないので神待ちしてみた  
捨てられた少年のエロマンガ第42話」

2022年 8月20日 発行

発行者/著者：orukoa

原案：水野いんく

**pixiv**:<https://www.pixiv.net/users/13656283>

**twitter**:@o\_rukoa

**ホームページ**:<https://o4wm55.wixsite.com/orukoa>

- 上記宛先などにて、ご意見ご感想をお待ちしております。
- 18歳未満の方の本作品の閲覧はご遠慮ください。
- 無断転載および無断使用を固く禁じます。
- 無断転載および無断使用により当方が被った不利益につきましては損害の賠償を求める場合がございます。
- この物語はフィクションです。実際の団体や人物、事件とは一切関係ありません。